

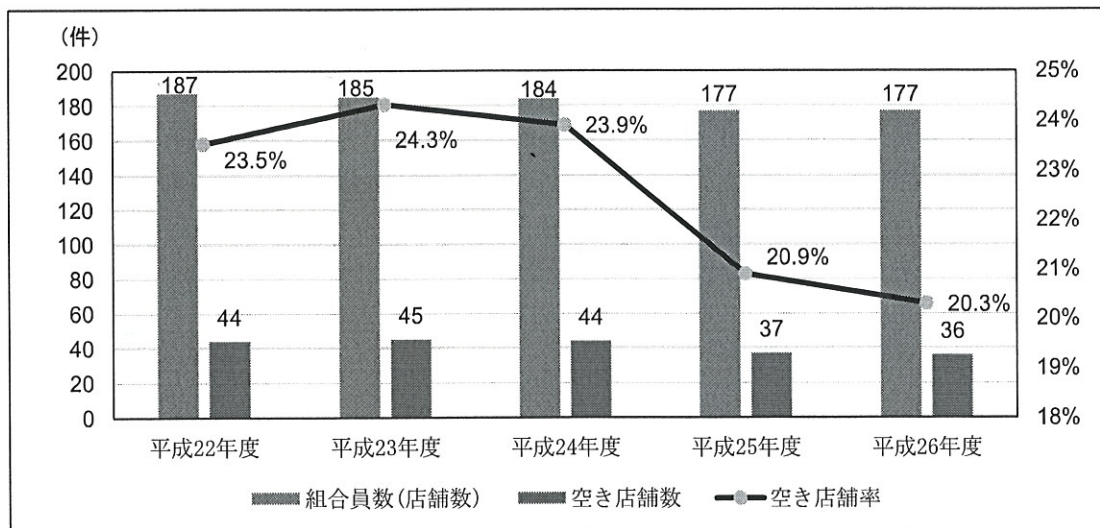
2) 中心市街地内の空き店舗数の推移

商店街振興組合員数は平成22年度から26年度にかけて減少を続けており、商業者の廃業が中心市街地内で進行しているものと思われる。

また、中心市街地内の空き店舗数は、近年概ね40店舗程度で推移している。

空き店舗の元の業種としては、日用品店、衣料品店が全体の半数を占めている。

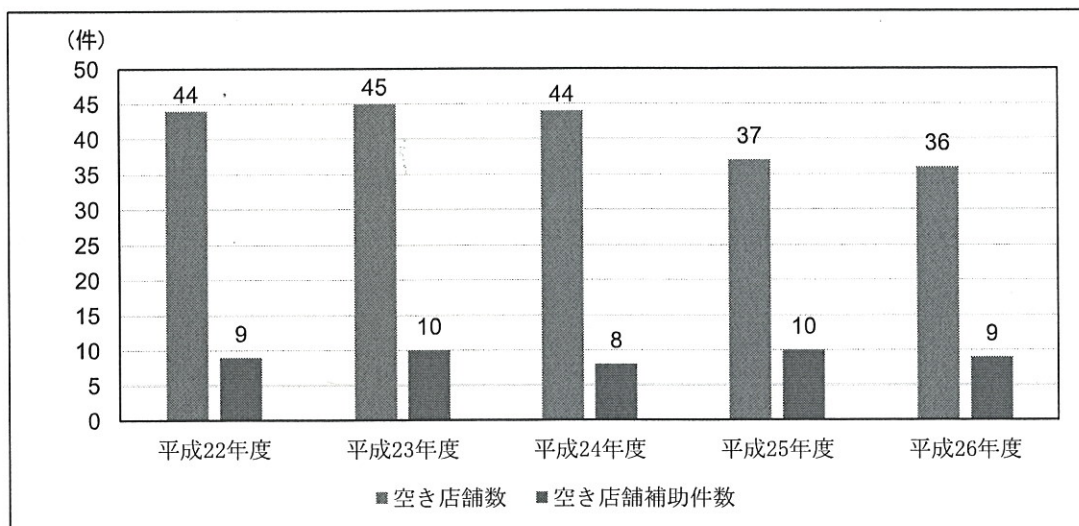
【空き店舗数等の推移】



(資料：大垣市)

【空き店舗対策事業の実施状況】

市単独による空き店舗対策事業を平成8年度から実施しており、店舗改装費及び家賃に対する補助を実施している。年間平均8～10店舗の実績があり、空き店舗活用の推進を図り、その解消に努めている。



(資料：大垣市)